自ら学ぶ心豊かなたくましい児童の育成 健康な心と体づくりをめざした学びを通して

埼玉県さいたま市立 日進小学校

全校児童数1052名 (男子541名 女子511名) 電話番号 048 (663) 6942

実践内容

実施目的

①学校の教育目標のひとつである「たくましい子」を実現するため、学校・保護者・地域 が一体となって学校体育の全般的な充実を図る。

- ②体育の授業はもちろん、学校の教育活動の様々な場面で体力の向上を図ることができるようにするとともに、体力の保持・増進にかかわる教育方針を保護者と共有する。
- ③子どもたちが楽しみながら、体力の向上並びに基礎的な動きを身に付けることができるよう、施設設備や遊具類の環境整備を行う。

実施内容

1 教育活動全体を見通し、運動遊びの時間を確保する

木曜、金曜の1校時開始前の15分間を「しいの木タイム」とし、1日の目覚めの時間として、 月ごと、学年ごとに場所(運動場・遊具施設・体育館等)と種目(持久走・なわ跳び・ボール投げ・遊具遊び等)を変え、新鮮な気持ちで体力向上に取り組んでいる。また、高学年児童の運動委員会主催による、「鉄棒教室」や「なわ跳び教室」等を開催し、低学年を中心に運動の楽しさを味わわせるとともに外遊びのきっかけづくりをねらっている。

2体育授業の実践研究と奨励種目の取り入れ

さいたま市教育委員会指定の研究発表や埼玉県小学校体育連盟主催の体育授業研究会、 校内の授業研究会等で積極的に授業を公開し、授業の質と教員の力量を高めている。また、 新体力テストの結果、さいたま市の平均を下回る「走・投」の運動を中心に「奨励種目」 を設定し、10mダッシュや的あて、サーキットトレーニング等を実施している。

3 保護者とともに体力向上に取り組むための行事やイベントの開催

(1) 「日進小環境デー」における体力向上施設・設備の作製

夏休みに、200名を超える保護者や地域ボランティアとともに「タイヤランド」「的あて板」 「ケンパーランド」等体力向上のための施設を作製し、その活用に努めている。

(2) おやじの会を中心とした体力向上施設・設備の環境整備

月1回土曜日に実施する「おやじの会」(父親を中心に保護者と児童、教職員が参加する会)において、環境デーで作製した施設・設備を中心にペンキ塗りや修繕を行いながら、お互いのコミュニケーションを深めている。その後ドッジボールや竹馬、的あて等親子で運動遊びを行う機会を設け、さわやかな汗をかいている。

(3) 「日進小講座」における親子体操教室の開催

夏休みに、本校の教職員が講師となって体操教室を開催している。親子で楽しく運動したり、競争したり、体を動かすことの大切さについての勉強会を行ったりしている。

実施上で 工夫した こと

- ①体育授業の参観日での積極的な公開を実施したり、体力向上にかかわる学校経営の方針、 遊具施設を使って楽しく運動する子どもたちの姿等を「教育通信」として、保護者・地 域へ配布したり、各種会議の中でスライドを使って紹介し、周知を図った。
- ② 「日進小講座」や「おやじの会」での作業内容を、体力つくりのための環境整備に絞った。 保護者の手でつくったもので運動する子どもたちの姿が見られる充実感を大切にした。



- ①施設・設備が増え環境が整うにつれ、外遊びを楽しむ児童の数が増加している。また、 新体力テストの結果もここ数年上向きである。千人を超える児童が思う存分体を動かす ことのできる仕組みづくりが新たな課題となった。
- ②土曜日や日曜日等に子どもとともに保護者が来校し、体力向上のための施設や設備で遊ぶ姿が今まで以上に見られるようになった。その使い方や遊び方が一目で分かる工夫が引き続きの課題となっている。



しいの木タイム

朝のさわやかな空気、高学年の5分間走



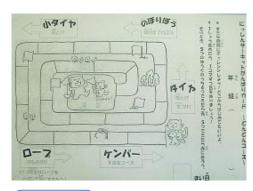
新体力テストの結果

ここ数年上昇傾向にあるが課題もくっきり



研究発表会

指導力向上のための積極的な授業公開



学習カード

作製した遊具をサーキットにして活用



タイヤランド

おやじの会でペンキを塗り、子どもも大喜び



ケンパーランド

ケンパー、色おに、アイディアいっぱい



遊び方の大きな掲示

この掲示を使って、親子で遊ぶ姿も見られます



日進小講座

親子体操教室で、親も子も汗びっしょり